

医学的・臨床的アプローチと美容研究の融合で新たな知見創出を目指す 大森駅前皮膚科との連携スタート

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:片桐崇行)は、この度、大森駅前皮膚科(東京都大田区、院長:鈴木民夫)との研究連携を開始しました。本連携は、皮膚科学の医学的・臨床的アプローチと当社が長年培ってきた美容研究の知見を融合させることで、これまでになかった新たなアプローチによる研究開発の推進を目的としています。両者の専門性を活かした共同研究や技術開発を通じて、より健やかで美しい肌の実現に貢献してまいります。

連携について

肌悩みの解決法や美しさを提供する事業として、化粧品や医療といった領域が挙げられますが、近年、年代や性別を問わず医療の利用が徐々に広がりを見せる中、ポーラ化成工業では、化粧品と医療との融合を視野に入れた研究活動を強化し、化粧品の果たす役割の再定義とその可能性の拡張に取り組んでおります。

本連携では、ポーラ化成工業の皮膚科学研究に対して皮膚科専門医としての見地から助言・指導を受けるとともに、必要に応じた臨床研究の実施などを視野に連携を進めています。皮膚科医療機関との連携により、以下のようなメリットが期待されます。

- 臨床現場からのフィードバックを活用した基礎研究・製品開発
- 皮膚疾患に関する最新の知見をふまえた研究の深化
- 深い肌悩みニーズに即したスキンケアソリューションの提案

連携先の大森駅前皮膚科および院長の鈴木民夫医師について

大森駅前皮膚科は、これまで名古屋大学病院とその関連病院、および山形大学病院で皮膚科医療に携わってこられた鈴木民夫医師(山形大学 名誉教授)が院長を務め、2025 年 5 月 7 日に開院しました。鈴木民夫医師はライフワークの 1 つとして尋常性白斑等の色素異常症の研究にも取り組んでおり、2025 年 1 月からは日本白斑学会会長にも就任されました。皮膚のプロフェッショナルとして確かな知識と豊富な診療経験を保有しています。

- 大森駅前皮膚科 概要 -

大森駅前皮膚科は、「健やかな肌も心の健康も支える」をコンセプトに、2025 年 5 月 7 日に JR 大森駅前に新規オープンした皮膚科クリニックです。

院長の鈴木民夫医師は特に尋常性白斑や化学白斑等の色素異常症の研究に注力しており、長年培ってきた経験と、最新情報に基づいた適切な技術でお悩みに応じた治療やカウンセリングを行っています。

■所在地

東京都大田区大森北 1 丁目 1-10
大森シティビル 2 階

■公式サイト

<https://www.omori-ekimae-hifuka.com/>

<鈴木民夫院長からのコメント>

「健やかな肌は、心の健康にもつながる」——その考えのもと、医療と美容は密接に関わり合う領域です。今回の連携を通じて、皮膚疾患や肌に関する研究の深化が進むとともに、疾患の治療にとどまらず、治療後のスキンケアに至るまで、医療と美容が一体となった包括的なアプローチが可能となります。心身の健やかさを支える新たな価値創出が期待されます。



大森駅前皮膚科

